

# 未来をひらく

## いじめ撲滅強化月間

### なくそういじめ！ふやそう笑顔

いじめ問題の取組については、これまでも「いじめはどの学校でも、どの子にも起こりうる」、「いじめは、人間として絶対に許されない」という強い認識に立ち、未然防止に努めるとともにスクールカウンセラー等を活用し教育相談体制の充実を図るなど、早期発見・早期対応に努めてきました。

北九州市教育委員会では、いじめ問題への取組を徹底するために、9月を「いじめ撲滅強化月間」に設定しました。市内すべての小・中学校において「なくそういじめ！ ふやそう笑顔」をスローガンに、いじめ撲滅の取組「クローバーキャンペーン」を実施しています。

#### いじめ防止サミット

##### in北九州

平成25年8月8日（木）ウエルとばにて、北九州市内の全小・中学校192校から代表児童生徒が参加して、各学校のいじめ撲滅の取組の発表とみんなのできる取組について討議しました。代表児童生徒の話し合いで、9月の「いじめ撲滅強化月間」は、全市の小・中・特別支援学校において、「クローバーキャンペーン」を実施することが決まりました。

また、全小・中学校から学級討議や児童会・生徒会の議論を経て作成された「北九州市いじめ撲滅宣言」が代表児童生徒によって決められ、会場の参加者と唱和しました。その後、グラヴァンツ北九州の柱谷幸一監督から、北九州市の子どもたちにサッカーを通して、一人一人がその場の状況に応じた判断や行動をすることやルールを守る大切さなどのメッセージをいただきました。



北九州市立沼中学校 3年 墨田 知世



クローバーシール

自分はいじめをしないと決意をした児童生徒は「クローバーシール（いじめ撲滅シール）」を貼る「クローバーキャンペーン」を実施しています。

また、「いじめ撲滅強化月間」で、市内の全小・中学校や市民センターに啓発ポスターを掲載しています。

#### クローバーキャンペーン

#### 「北九州市いじめ撲滅宣言」

- 私たちは、自分やみんなの心と体を気につけ、大切にします。
- 私たちは、あなたの悲しみを自分の悲しみとして受け止めます。
- 私たちは、いじめを許さず、仲間と一緒に考えます。
- 私たちは、自分たちができることから実行し、いじめのない北九州市をめざします。

#### 「体罰防止のための手引き」の作成にあたり

##### ～体罰のない学校をつくるために～

体罰は、学校教育法で禁止されている行為であり、子どもたちの心身に深刻な悪影響を与える決して許されない行為です。体罰をなくするためには、教員一人一人が体罰に関する正しい認識を持ち、学校全体で体罰の未然防止に取り組む必要があります。北九州市教育委員会では「体罰防止のための手引き」を作成し、全教職員に配布しました。手引きには、自己の指導を振り返るチェックシートや、より良い指導方法等を話し合うための事例研究、部活動指導のガイドライン等が掲載されています。この手引きを日頃の指導や研修に活用し、全ての学校で体罰によらない指導を徹底していきます。

#### 「いじめ問題を見過ごさないために」の作成にあたり

いじめは、児童生徒の心身の健全な発達に重大な影響を及ぼし、不登校や自殺などを引き起こす背景ともなる深刻な問題です。しかも、最近のいじめは携帯電話やパソコンの介在により、一層見えにくいものになっており、本市教育行政における最重要課題であると認識しています。

そこで、平成19年度に発刊した教師用手引き「いじめ問題を見過ごさないために」を、時代に即したものに再編していくことが必要であると考え、平成25年6月に改訂版を発刊し、全校・園の教職員全員に配布しました。





## 北九州市環境キャラバン

ふれて 感じて  
共に行動する!

## 活動プログラム内容

8月8日(木) から10日(土) にかけて、北九州市教育委員会主催で「北九州市環境キャラバン」が実施されました。これは、小・中学校の児童生徒に本市の豊かな自然を体験を通して学び、意見交換の場を設け、積極的に環境にはたらきかける子ども環境リーダーを育成するとともに、北九州市が持続可能な社会に向けた環境を支える財(たから) づくりのために行われるものです。「北九州市環境キャラバン」の活動の様子をご紹介します。

1日目



若松北海岸のタイドプールや曽根干潟での生き物観察

2日目



北九州高校魚部との紫川生き物調査



Eボートによる江川流域の自然観察



平尾台鍾乳洞(目白洞)での洞窟探検



ほたる館での学習

## 環境子ども会議

3日目



「北九州市環境キャラバン」で学んだ環境に関する内容をまとめて発表しました。

## 参加した子どもたちの感想

- 平尾台の洞窟は、数億年以上の時をかけてできたすばらしい古代からの神秘的な贈り物だと思います。だから私たちが、この自然を守り、未来へ届けたいと思います。
- ぼくは、この三日間で色々なことを学び、知り、感じ、初めて出会った仲間との絆を深め、環境についてくわしくなりました。ここで学んだことを人々に伝えて、みんなの環境リーダーを目指していきたいと思います。自分も環境に良いことを進んでしようと思いました。

北九州市初!!  
ステージ上で道徳の授業を公開!

## 平成25年度 心の教育フォーラム

～子どもたち一人一人の生き方について考えを深めた45分間～

平成25年8月8日(木) にウェルとばた大ホールで「心の教育フォーラム」を開催しました。

教育委員会では、いじめ等の問題行動を未然に防止するためにも心の教育の充実に努めています。教育セミナー第三部の「心の教育フォーラム」では、学校における心の教育の要となる道徳の時間を具体的にイメージしていただくために、北九州市初となるステージ上での授業公開を行いました。

ステージ上には、指導者として東京都からお招きした世田谷区立池之上小学校の橋本ひろみ主任教諭に、児童代表として浅川小学校第6学年児童(26名) に登壇していただきました。橋本先生は、東京都教職員研修センターの講師としても活躍しておられ、文部科学省小学校道徳読み物資料集の作成協力もされている先生です。また、代表児童が通っている浅川小学校は平成20年度から「学校大好きオンリーワン事業」の推進校として本市道徳教育をリードする専門性の高い授業実践を積み重ねている学校です。



授業は、資料「小川笙船」(文部科学省 小学校道徳読み物資料集 平成23年)を活用し、自分の役割を自覚し責任をもとうとする心情を育てることをねらいとしたものでした。内容は、江戸時代に活躍した医師の小川笙船が、経済的に困難な人たちであっても手厚く治療し、江戸の医師としての役割や責任を全うしたというものです。

資料を基に、活発な意見が交わされ、児童は自分の生活を見つめ直しました。

授業後の児童の感想として、「今日の学習をして、自分の気持ちをはっきりと言うことは気持ちいいなと思いました。

学習であったように自分の役割をもう少し考えて人のために行動したいです。」などがあがり、心に響く授業となりました。

また、参観した保護者のアンケートには、「自分(先生)の意見を押し付ける授業ではなく、子どもの意見を聞き、子どもたちに考えさせる授業であるところや、大人のもっているきれい事だけでなく、子どもの純粋な気持ちを時間の限り聞いたところが素晴らしかったです。」などの感想が書かれていました。さらに、学校の先生方からのアンケートには、「子どもに発問して、しばらく待っている先生の雰囲気がとてもやわらかくて、発言しやすいように配慮されている気持ちが伝わってきました。私も子どもの声が聞けるように、1時間1時間を大切に意味のあるものとなるように授業づくりに取り組みたいです。」などがありました。参観者の方々は、大人の価値観を押し付けるのではなく、子どもの素直な思いに寄り添いながら共に考え、共に悩んでいく姿勢をもつことが大切であることを感じ取っていただいたようです。

今後も学校と家庭と地域が共に人としての生き方について考え、子どもの心の教育を推進していきたいと考えています。





# 教育の現場から

第7回



## 「読書好きな子ども日本一」を目指して…

～いま、学校図書館が熱い！～

本市は「読書好きな子ども日本一」を掲げ、平成23年度に「子ども読書プラン」を策定して、27の事業を展開中です。今回は、その中でも主として小・中学校が、読書活動の充実に向けた独自の取組を進めている様子や、多くの「マンパワー」によって図書館整備が飛躍的に進み、どんどん充実している様子の一部を紹介します。



早稲中学校  
特設コーナーを作り、読書意欲を喚起

### 「子ども読書の日」の取組



学校図書館職員とブックヘルパーの見事な連携で…

高見中学校

4月23日は「子ども読書の日」です。毎年各々の学校で工夫を凝らした取組がなされています。高見中学校では、学校図書館職員とブックヘルパーが協力してブックトークに挑戦。生徒を魅了しました。また、泉台小学校では、図書委員会の児童が主体となって読書集会を開き、読書への意欲を高めました。



図書委員会が中心となって盛り上げた、「読書集会」

泉台小学校

### 休み時間も、子どもがいっぱい！

槻田小学校



休み時間になると、たくさんの子どもたちで賑わう槻田小学校の図書館。読書にふける子はもちろん、本の貸出や返却に来る子、学校図書館職員に本の相談に来る子、掲示物作りに夢中になる子…。学校図書館がまた来なくなる居心地のよい場所になるよう、努めています。

学習のアシスタントとして担任とともに…

井堀小学校



学校図書館職員は、さまざまな教科で子どもたちの学習をサポートしています。井堀小学校では国語科の学習で、図書館の利用の仕方について担任の先生とともに指導に当たっています。また、板櫃中学校では、各学級で取り組んだ「本の葉」を掲示したり、POP作りをしたりするなど、読書活動を啓発する委員会の活動を支援しています。

図書(文化)委員会の活動へのサポート

板櫃中学校



### 学校図書館職員が学習や委員会活動をサポート

### マンパワーで進む、学校図書館の整備



技能の向上を目指して学び続ける

ブックヘルパー研修会

学校図書館の整備を進めるには、より多くの「マンパワー」が必要です。教育委員会では、定期的にブックヘルパーを集めて技能の向上を図る研修会を実施しています。また、浅川中学校では、学校図書館職員が家庭教育学級において、多くの保護者の方々に本の修理の仕方について、実技講習をしました。



家庭教育学級で多くの保護者へ

浅川中学校



### 子ども司書養成中！

中央図書館



中央図書館主催の「子ども司書養成講座」では、夏季休業期間を中心に5回の講座があり、司書体験や読み聞かせ、本の装備や修理の仕方などの学習をしています。今年度は52名が受講しました。大蔵中学校では、この講座を修了した子ども司書が、読み聞かせや読書会を企画するなど、活躍しています。

### 子ども司書活躍中！

大蔵中学校



### 子ども司書養成講座

※「学校図書館職員」とは、司書資格をもつ職員で、本市では21名を任用。現在66校の小・中学校を巡回して業務に当たっています。

## 高須中学校生徒会

## 東日本大震災復興支援活動「第3回人生一冊プロジェクト」

東日本大震災から2年6か月が過ぎました。平成23年3月11日、あまりにも、苦しく悲しい映像に体が震え、時間が止まりました。しかし、私たち生徒会は、被災された方々に、何か目に見える支援活動を行いたいと考え、話し合いを続けていきました。そんなある日、私たちは、「本を読める生活を取り戻したい」という新聞記事に出会いました。その記事が原点でした。私たち生徒会は、「人生一冊プロジェクト」を立ち上げ、復興支援活動の第一歩を踏み出しました。「他の人にも読んでほしい」と思った「人生一冊」を、被災地に送り、「少しでも元気になってもらいたい」という熱い思いが、この2年間、大きなうねりとなり、支援の輪が広がっていきました。そして今年の8月26日(月)、3tトラックに6,833冊の本と生徒会や皆さんの思いを詰め込み、岩手県の被災した図書館に向けて出発しました。ご協力いただいた16団体の皆さん、本当にありがとうございました。





## 子どもの将来の夢や目標の実現に向けて

北九州市教育委員会教育委員長  
川原 房 榮

教育委員を拝命して以来、これまで教育を真剣に考える機会を与えていただいたことに感謝すると共に、推し進めてきた諸施策が子どもの確かな成長に結びつき、市民の信頼に応え得るものになっていったのか自問自答しながら職務に当たってまいりました。教育委員二期目の終盤を迎えつつありますが、本市の子どもの現状について印象に残っている点のひとつを紹介したいと思います。

ある日の教育委員会会議で事務局の担当課から『本市の小中学生は、将来の夢や目標を持つ子どもの割合が全国平均より高い』との説明がありました。これは小学校6年生と中学校3年生を対象とした全国学力学習状況調査から明らかになったことであり、大変面白い話題のひとつです。今持っている夢や目標は子どもの成長に伴って変化していくものかも知れませんが、ぜひ抱き続けてほしいと願っています。

教育委員会が定めた「子どもを育てる10か条」の中に、「子どもと夢を語り合おう」とあります。普段から親が子育てにしっかりと向き合い、子どもの話に耳を傾けながら会話の時間を大切にするなど寄り添って欲しいのです。子育てをする親のかかり方として、乳児期は「肌を離すな」幼児期は「目を離すな」学童期は「手を離すな」思春期は「心を離すな」といった話を聞いたことがあり、大変印象に残っています。子育ての基本として心に留め、日々の家庭生活の中で生かしていただければと思っています。また、先生との出会いが子どもの将来を決定づける場合もあります。数年前ノーベル賞を受賞された方は、高等学校での先生との出会いが科学者の道を志すきっかけとなったと語っています。人によっては決定的な人生の転機となり得ることさえあります。

夢や目標はその子の生き方を支える推進力ともなりますが、時にして困難に直面したり思い通りの結果が得られず挫折感を味わったりする場合もあります。小さい頃からさまざまなことにチャレンジさせながら、その過程で例え失敗しても失敗を単なる失敗で終わらせるのではなく、その失敗から学び取るといった経験の繰り返しによって、たくましさや、その中で積み上げてきた成功体験が、困難を乗り越えていく際のバネになると考えます。また、周りの大人たちは、学ぶことの大切さや必要性、夢や目標を実現するための具体的なアプローチの方法などについてかわりを深め、その実現を支えていきたいものです。そのためにも家庭や学校、地域社会、行政がそれぞれの役割をしっかりと果たしつつ相互に連携していくことが大切であると改めて感じております。

毎月定例的に開催されている教育委員会会議では、議案として議決が必要なものや報告案件、協議などについて議論しています。また、必要に応じて臨時の会議も開催されます。いずれにしても教育委員会会議は教育委員会の重要案件について各委員が意見を述べ合い、合議によって今後の方針を明確にする場であり、したがって、今後もこの会議に十分な準備をしながら臨むことはもとより、適切な判断ができるよう自分自身を磨き、微力ではありますが本市教育の充実に向け全力を傾注してまいりたいと考えています。

## 平和に関する指導について

平和に関する指導は、児童生徒の平和に関する正しい認識及び平和を希求する心情を育成することをねらいとして、すべての学校で年間を通して、全教育活動の中で実施しています。

本市では、「北九州市非核平和都市宣言」(平成22年)を受け、7月を「全市一斉の平和に関する指導月間」として、全校一斉に指導に取り組んでいます。各学校では、読み聞かせやDVDの視聴、語り部の講話、全校集会などを通して、命と平和の大切さについての認識を深める指導が行われました。

今年は市制50周年を記念して、8月にイノベーションギャラリーで「知寛特攻平和会館 北九州展」が開催されました。開催に先立ち、7月に八幡東区の4つの小学校で旧知寛町出身の語り部の講話が実施されました。暑い中でしたが、子どもたちは当時の様子について真剣に話を聞き、平和への思いを新たにしていました。



知寛特攻平和会館 語り部 山口繁章 様 (槻田小学校)

## 第10回優れた教育活動実践教員表彰式

平成25年7月19日(金) 北九州市立視聴覚センターにおいて、「第10回優れた教育活動実践教員表彰式」が行われ、特別表彰5名、普通表彰36名の計41名が表彰されました。

この表彰制度は、情熱を持って教育活動に取り組み、他の教員の模範となるような教育活動を実践している教員を『優れた教育活動実践教員』として表彰するもので、今年で節目の10回を迎えました。今回の受賞者を含めて、これまで417名の教員が受賞しています。



## 姉妹都市25周年 仁川市英語村中学生派遣事業

姉妹都市提携25周年を記念し、8月1日(木)～8月6日(火)に市内の中学生70名が仁川市英語村を訪問しました。英語村では、韓国の江華島の生徒120名とともに、英語の授業に参加したり、お互いの市の特徴を紹介し合ったりする活動を実施しました。詳細については、次号で紹介しますので、お楽しみに!!



### 10月13日(日)は親子で到津の森公園へ!

市制50周年記念事業「第1回PTAの日」  
**明日の子どもを育てるフェスティバル**  
～ありがとう!子どもは、我が町の宝!～

市民みんなで次世代を担う子どもたちを育てよう!をコンセプトに楽しいイベントを開催します。

## イベント内容

- ステージショー
- 元プロ野球選手による野球教室
- ギラヴァンツ北九州サッカー教室
- ウルトラマランショーなど

**日 時** 平成25年10月13日(日)  
**昼の部** 10:30～17:00  
**夜の部** 17:30～20:00  
**会 場** 到津の森公園

北九州市小倉北区上到津 4-1-8

**参 加 費** 大人:入園料 子ども:無料  
※詳しい内容は、9月下旬に学校を通じて配布するプログラムをご覧ください。

**お問い合わせ:** 教育委員会生涯学習課 TEL. 582-2385



## 学校開放週間

教育委員会では、毎年「学校開放週間」を設定し、保護者や地域の皆さんが学校を訪れ、授業や行事など、ふだんの学校の様子を見ることで、学校教育への理解を深めていただいています。

この機会に、子どもたちの学習の様子を見に学校に行ってみませんか。多くの方の来校をお待ちしております。

**期 間** 平成25年10月26日(土)～11月7日(木)  
※学校によって、実施期間が前後する場合があります。  
詳しくは各学校・園にお問い合わせください。

**対象学校** 市立の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校、北九州市立高等学校、戸畑高等専修学校・高等理容美容学校

学校開放週間は「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」協賛事業です。



### '13 まいなびフォーラム 生涯学習 これまでの10年 これからの10年 ～ 地域、世代をつなぐ生涯学習 ～

**基調講演** 文部科学省中央教育審議会委員  
生涯学習分科会副分科会長  
九州大学理事 菊川 律子 氏  
演題:「生きがいの生涯学習・  
サバイバルの生涯学習」

**分科会** 第1分科会テーマ・「地域・つながり(絆)」  
第2分科会テーマ・「世代を越えた連携」  
第3分科会テーマ・「ネットワーク」

**日 時** 平成25年12月1日(日)  
9:30～16:30

**会 場** 生涯学習総合センター(愛称 まいなび 21)

**お問い合わせ:** 生涯学習総合センター  
北九州市小倉北区大門 1-6-43  
TEL.571-2735